

三心を磨く

学校だより NO. 47

平成30年 12月 3日 (月) 発行

須坂市立東中学校

文責：金井 勝久 (教頭)

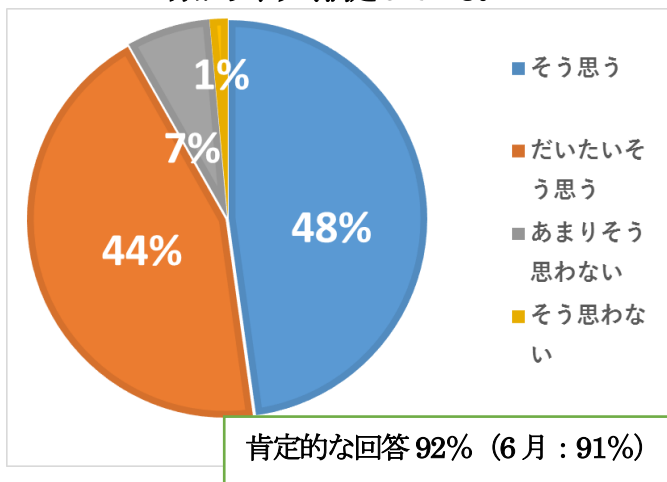
<http://www.azuma-school.ed.jp/>

「授業が充実し、わかりやすく満足」が『92%』に！！

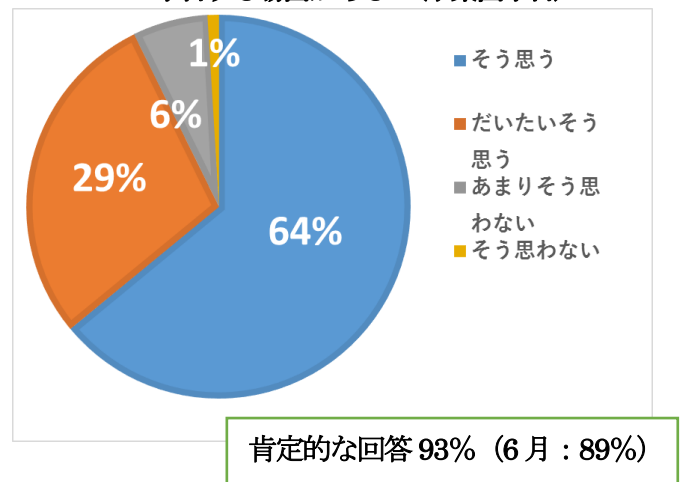
～生徒による授業評価アンケート（11月）の結果をお知らせします～

1学期（6月）に続いて2学期（11月）も「生徒による授業評価アンケート」を実施しました。今回、その結果について6月（1学期）と比較してお知らせします。

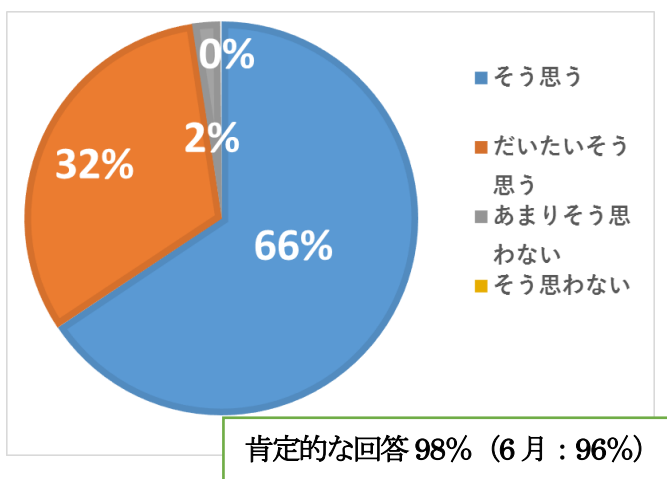
【設問①】先生の授業は内容が充実していて
わかりやすく満足している。



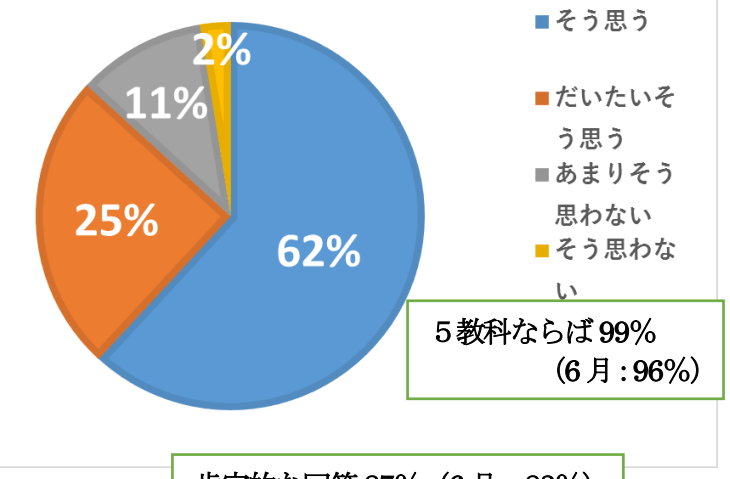
【設問②】授業の中に、友だちと関わり合いながら
学習する場面がある。(小集団学習)



【設問③】先生の授業は、一人一人を大切にしている



【設問④】先生の授業では、ICT機器が使われている



本校では、1学期（6月）と2学期（11月）に、上のように ①「授業の充実」②「友とのかかわりあい」③「安心した授業」④「電子黒板やタブレットの活用」の4項目について生徒からアンケートをとりました。今回、①「授業の充実」については、92%の生徒が「そう思う」「だいたいそう思う」と肯定的に答えています。この3年間「授業の充実・わかりやすい授業」にむけてICTや小集団における授業の実践、職員の教材研究の充実を図ってきました。これからも充実した、わかりやすい授業の実践をすすめていきます。

②「友とのかかわりあい」については、「インプット型からアウトプット型の授業へ」という授業改善をすすめている現在、小集団学習やグループ学習がどの教科でも行われ、「聴く・話す」といった活動が増えていることが分かりました。肯定的な回答が「9割」を越えたことは大きな成果です。さらに研修や実践を進めます。

③「安心した授業」につきましても、授業者としての基本的な事柄ですので、100%をめざして研鑽してまいりました。「98%」となりましたが、あくまで「100%」にこだわり、取り組んでいきたいと思えます。

④ICT機器「電子黒板やタブレットの活用」につきましても、5教科（国語・社会・数学・理科・英語）における集計は「99%」が肯定的な回答となりました。3年間の取組の中で、ICTを使った授業が「ほぼ日常化した」と言えます。これからは「ICTの活用の仕方」を追究し、本校や長野県の課題の1つである「生徒たちの活用する力の育成」のためにICTの活用を生かし、さらに「わかる授業の実践」に努めていきます。

◇◇ 生徒たちからの記述から ◇◇

【生徒たちがよいと感じていることから】

- ・プロジェクターを使ってやる授業は、自分の目で確認できるから分かりやすいし、理解できわかりやすい。
- ・デジタル教科書やプロジェクターを使う授業が、5教科以外でも多くなった気がする。
- ・どの授業でも、プロジェクターやタブレットを使い、よりわかりやすく教えてくれていてよい。…（多数）
- ・小学校と違い、グループでわからないところを教え合ったり、グループで本気で考えたりできることがよいと思うし、ほとんどの教科で、毎時間できていることがとてもよい。
- ・グループや隣の人と考えたり意見交換したりする授業が増えて楽しいし、わかりやすい。（多数）
- ・友だちとかかわれる場面が増えて、友だちと教え合ったりするから説明する力がついたので良かった。
- ・どの教科でもグループで話し合う授業が多いので、他人の意見も聞けて考え方が広がってとてもよい。
- ・先生方の話の内容が、すごくわかりやすく、楽しく授業ができています。…（多数）
- ・どの授業も先生たちが聞いてくれるし、友だちにも笑われたりしないから安心してできる。…（複数）
- ・先生方は、わからないところはヒントをくれたり、一人一人のペースを考えたりしながら教えてくれる。
- ・自分の悪いところや改善点をていねいに教えてくれて、最後まで見てくれるところがうれしいです。
- ・先生方は、生徒が間違いやすかったりわからなかったりするポイントのところを重点的に教えてくれる。

【生徒たちが課題だと感じていることから】

- ・授業中うるさくなることがある。そこはしっかりと厳しく注意してほしいし、静かにさせてほしい。
- ・発言の際の指名について、公平に指名してほしい。（たまに発言する人が中心にあたるのは公平でない）
- ・授業が進むのが早いと思う。くり返しを増やして、全員が理解してから次に進むようにするとよいと思う。
- ・説明が難しくわかりにくい教科があるので、もっと工夫して授業をしてほしい。
- ・黒板やスクリーンに映る文字が小さすぎたり、見えない色があったりするので工夫してほしい。
- ・スクリーンと黒板のバランスがよくない。もっと整理して、大切なことは黒板にまとめを書いてほしい。

◇◇◇ 生徒たちの声から学んだこと ◇◇◇

○今回のアンケートでは、全校生徒167名中、118名（71%）に記述がありました。

記述の多くは、「ICTの授業やペア・グループの授業が楽しい」「友だちと話して意見交換したり、かわったりする授業がよい」「先生方と楽しく授業ができています」といったものでした。それらの言葉から、前向きな学校生活を送っている現在の東中生を強く感じました。「ICTを活用したわかりやすい授業」や「協同的な学びによる生徒一人ひとりの主体的な学び」を、自信をもってさらに進めます。

○課題についても、「私たちはもっと頑張りたい」「頑張っている私たちをもっと認めてほしい」「さらに1つ上のステージをめざしたい」といった、強い思いが感じ取れるものが多く、生徒の成長を感じています。私たちはここに大きな喜びを感じています。そして「もっとていねいに・もっとわかりやすく」という声を真摯に受け止め、応えてまいります。また、「もっと工夫した授業を…」という意見については、業務の精選や改善を進めることにより、職員の授業の準備・授業づくりの時間を確保・教材研究をより一層深めることで授業改善を進めます。そして、東中生の課題である「活用する力の育成」をめざし、研修を重ねていきます。

これら生徒たちの気持ちや姿勢を大切に、さらに前進したいと思えます。

